

悠々として急げ 編集後記にかえて

上記は古代ローマの帝政の創始者たるアウグストゥスの座右の銘である。急に寒さが増してきた今年の11月、61歳で肺がんが見つかり1年半の闘病をへて天国へと旅立った父の形見のジャケットを田舎の家に帰省した時持ち出してきた。学生諸君には不評であるが古いのは仕方がない。自分も父の肺がんの年になり、遺伝子の構成は半分が父からのものであるから、我が人生もあと一年余の覚悟をもって生きよ・・・との意味で父のジャケットを着る。父の生きることのできなかつた日々もあわよくば共に生きたいとも思う。が、時間が残り少ない！とにかく急いで生きよ！

軍事でも内政でも天才であり、天才であったゆえに改革を急ぎすぎ、多くの共和制を支持する若者たちに暗殺された義理の父ユリウス・カエサル成功と挫折から学んだアウグストゥスは、悠々として急げ・・・と自らに言い聞かせたのであろう。時間がかかっても立派にやり遂げることが重要だと考えたに違いない。若いころならともかく、色々な人生の条件の中、引退を前にやり残した仕事を思い悶々とする方は多かろう。体力と集中力の低下は避けられない。悠々とはしてはいられないとの心境はわかるが、人が仕事をする目的は若者たちにより良い世の中を残すことにある、と割り切ってしまうと必ずしも自らがやりとげる必要もない。研究に関していえば急いでも進まないときは進まない。無理に急ぐとかえって泥沼にはまる。その成果はなかなかひとには伝わらない。だから、悠々として急げ！

その一方で、ありがたいことに教育は自分が学んだことを若者たちに直接託す生業である。本学の真摯な学生には時を置かずそれを伝えうる。教育内容は長い年月に耐えたもののみを教えることにすれば、その咀嚼にじっくり時間をかけることができる。「研究だけでなく教育にも携わることができる幸せを知りなさい」・・・最後の職場が山口県立夜市小学校であった父の遺言である。

山田義博（藍野大学中央図書館長）

令和5年11月17日

【題字揮毫】

佐々木真美

2015年 2016年 2022年 日展入選

2019年 日本芸院展 大賞 受賞

2017年 小野市展 小野市長賞 受賞

2018年 三木市展 三木市長賞 受賞

藍野大学年報 2023

発行日 令和6年4月1日

編集 藍野大学年報編集部会
藍野大学中央図書館事務センター

発行 学校法人 藍野大学 藍野大学
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4丁目5番4号
電話 072-627-1711(代表) FAX 072-627-1753

印刷 株式会社プリント大阪



学校法人 藍野大学 藍野大学
大阪府茨木市東太田4丁目5番4号
072-627-1711(代表) <http://univ.aino.ac.jp>